

第12回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議について

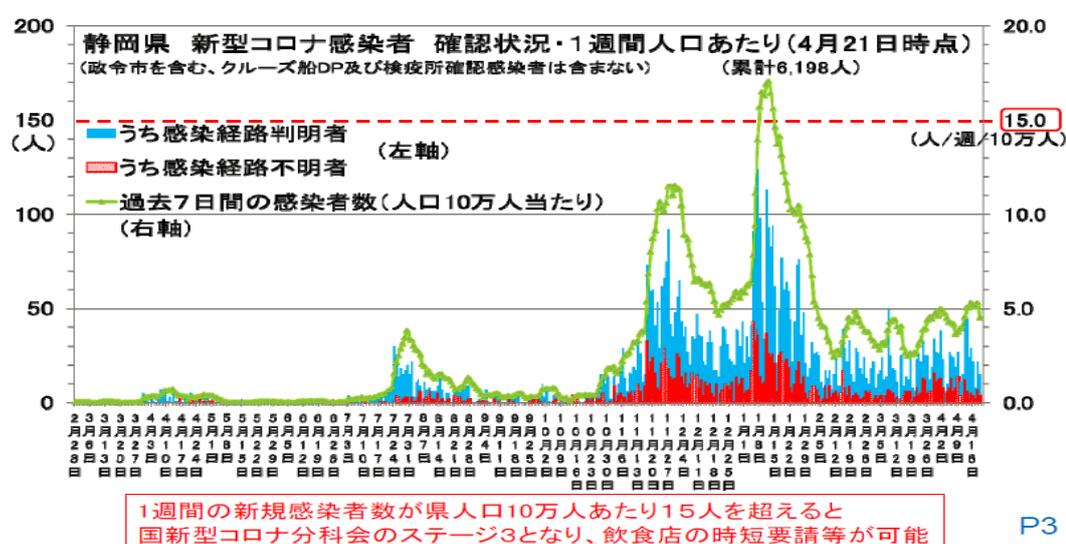
(健康福祉部感染症対策局)

1 要旨

令和3年4月23日、「第12回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を開催し、現状の感染動向の共通認識及び来るべき第4波への備えとして病床等確保方法の考え方について議論を行った。また、ワクチン接種状況について報告を行った。

2 議事内容

(1) 県内の患者発生状況や感染状況について



患者数は横ばい、10万人あたりの新規感染者数は5.0を前後している。
 現在、病床占有率は20%前後であり、ひっ迫している状態ではない。

(2) 第4波に備えた病床確保等の対策について

- ・ 国の試算ツールを使った必要病床数は、本県で最大788床。県内医療機関に対して現在調査中だが、確保数は最大数に満たない模様。
- ・ 委員からは、「すでに第4波が始まっており、今後大型連休等で人の流れが加速すると一気に各所でクラスターの発生が予想される。また、変異株の拡大も懸念されており、このまま何も対策をとらなければ、一般医療にまで支障をきたす医療崩壊となりうる。そのためにも、早急に人の流れを止めること、病床確保を行うこと。」とする意見が出された。
- ・ 委員からは「限られた病床を有効に稼働させていくためにも入院患者に対して10日間経ったら、後方支援病床確保病院へ転院していただき、病床稼働を効率的に行うシステム作りが必要」との意見が出された。
- ・ ワクチン接種については、医療従事者接種等で得られたデータを蓄積し、正しい知見を積極的に開示していくことが望まれるとの意見が出された。